

27	将棋
ビジョン	自発的問題解決能力やコミュニケーション能力を身につけた良き医療人になる
ゴール	講義、実践、感想戦等を通じて、各自の棋力を向上させる
理由	将棋の場合、数手先を読む能力が問われ、この能力を向上させることが良き医療人となる資質(状況判断など)を養成するのに必要と考えられるから
知の成果物	将棋における序盤の構想、中盤の展開、終盤の寄せの各場面における諸技術、知識の習得
身につく力(目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的問題解決能力</li> <li>・コミュニケーション能力</li> <li>・礼儀作法</li> <li>・構想・創造・集中・忍耐力</li> </ul>
学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駒の並べ方や動きなど基本ルールの理解</li> <li>・個人対局</li> <li>・グループ対局</li> <li>・棋譜の作成</li> <li>・先人の棋譜の調査→対戦方法の理解(自分に合った戦法の選択)</li> </ul>
活動の特徴	基本技術から対局まで専門家による指導を受けることができる。
班主任名	鏡 裕行 医学部 数学
<初回>活動場所	生涯教育研修センター2号館B1F B102
<通常>活動場所	
<雨天時>活動場所	